第2回 広島ワークスタイルカンファレンス開催

誰もが働きやすい職場を実現しよう

広島の企業で働く人たちの働き方について情報交換する「広島ワークスタイルカンファレンス」（広島県社会保険労務士会、中国新聞社主催）が10月12日、広島市中区のNTTクレドホールで開かれました。第１部では芸能プロダクション「タイタン」（東京）社長の太田光代さんを迎え、「太田光代さんと考える現代の働き方」と題してトークセッションを展開。第2・3部では働き方改革で成果を上げた県内の企業７社の表彰式と事例発表がありました。

企画・制作　中国新聞社地域ビジネス局

第1部 トークセッション「太田光代さんと考える現代の働き方」

芸能プロダクション「タイタン」社長

太田 光代さん

おおた・みつよ　1964年東京生まれ。高校卒業後、雑誌モデルなどを経てタレントに。90年、同じプロダクションに所属していたお笑いコンビ「爆笑問題」の太田光と結婚、93年、「タイタン」を設立、現在は社長として多忙な日々を送る傍ら、芸人を養成する「タイタンの学校」の理事長も務める。

リスキリングを奨励

―タイタンを設立した経緯を教えてください。

夫である太田光と田中裕二のお笑いコンビ「爆笑問題」を何とか売り出したいと立ち上げました。それまで自分が会社を運営するなんて考えたこともなかったし、全く先の見えない状態でした。

でも始めてすぐ、自分は社長業に向いているなと思いました。私はあれこれ悩んだり考え込んだりしてしまう性分なのですが、会社経営においては「考え過ぎ」ということがない。あらゆる可能性を考え、さまざまなリスクに備える必要があったからです。元々は爆笑問題だけがマネジメントする会社のつもりで人を雇う予定はなかったのですが、爆笑問題を慕う芸人が次々やって来て断れず、規模が大きくなっていきました。

―新型コロナウイルスによる影響はありましたか。

「エンターテインメントは不要不急」というレッテルを貼られ、映画や舞台、イベントがたくさん中止になりました。部分的には国の補償もありましたが、それでも大変な時代でした。

テレビの収録もスタジオに入れる人数が制限され、若手芸人の貴重なアピールの場である「ライブ」がなくなりました。一方で、ネットを利用したリモート出演という方法が定着して海外など遠隔地からでも出演できるようになりました。これはコロナ禍のおかげで発掘された、今後にも生かせる良いツールですよね。エンタメ業界だけでなく、社会全体でテレワークが進み、必ずしも都会で暮らす必要がなくなっています。

―最近注目されているスキリングについてはどうお考えですか。

うちの会社ではタレントだけでなくマネージャーにもリスキリングを勧めており、マネージャー業と並行して映画監督をしている社員もいます。人脈もできるし、会社にとってもプラスになると考えています。

運営している笑い養成所「タイタンの学校」は、芸人を目指すコースだけでなく一般コースも設けています。商品開発について学んだり、声を出す訓練をしたり、職業訓練校のような感じです。受講生の年齢層は幅広く、下は10代後半から上は60代、70代もいます。

―社会の働き方改革は順調に進んでいると思われますか。

業種によってはあまりうまくいっていない場合もあるかもしれませんね。実は働き方改革が私たちエンタメ業界を悩ませているんです。例えばテレビの現場でも、収録が長時間に及ぶと就労時間の関係でディレクターやカメラマンが途中で交代せねばならず、どうしても場の雰囲気が変わってしまうんです。また作品全体に関わり、やり遂げたという達成感が感じられない。仕事へのモチベーションが育たないことは会社の損失でもあります。

「働きやすい環境」は、業種によって異なるのではないでしょうか。画一的に進めるのではなく、情報通信技術（ICT）によるリモートワークなどさまざまなツールを使いながら、各業界の状況に合った多様なやり方を模索する必要があるのではと思います。

―女性が働く環境についてはどのような変化を感じますか。

私が27歳後半で会社を立ち上げた当時は、女性社長はまだ珍しく、また元タレントということで注目されました。

仕事も子育ても介護も

―例えばどう変わっていけば良いと思われますか。

子どもを社会全体で育てるという意識の醸成が必要だと思います。昔の日本のように地域全体で育てるという状況に戻り、地域の人、会社の人、みんなでアイデアを出していくということです。どこかの地域をモデルケースとして、補助金などの形で国がバックアップするのも一つの手ですよね。

子どもを多く産むと税金の負担が軽くなるという制度があってもいいかもしれません。いつかは誰かのお子さんのお世話になるわけですし、結果的に自分のためでもある。いずれにせよ漠然と理想を語るだけではなく具体的に方策を示していく時期に来ていると思います。

この状況は、本人の頑張りだけではどうにもなりません。国や自治体が関わりパックアップする必要があると思います。人生において家庭が大事、子どもが欲しいと親も大事にしたい。そんな女性たちの思いをかなえられるよう、「口先だけでなく」もっと真剣に女性の活躍を支える制度を作ってもらいたいと、10年後に向けて言っているのではないでしょうか。

―今の時代に合った働き方改革を進める上で大切なことは何でしょう。

働き方改革はまだ混乱の最中だと思います。少子化も高齢化も進んでいく中で、たくさんのやらねばならないことが皆さんの肩にのしかかっています。

ただこれらを考える上で心に留めておいてほしいのは、働くということはあくまで生きていくことの一部でしかないということです。日本は災害の多い国ですし、人生何が起こるか分からない。自分の大切な人が、家族が、突然いなくなってしまうかもしれない。だから自分にとって何が大切かを常に考え、仕事も子育ても介護も、全てを楽しんでやれる方法を一人一人が考えていく必要があるのではないでしょうか。

女性の活躍する制度を

第2・3部 ワークスタイルカンファレンス表彰式・事例発表

働き方改革に取り組み、グランプリと準グランプリに選ばれた広島県内の企業計７社を紹介します。社会保険労務士の労務監査を受けた23件の応募があり、県立広島大の木谷宏教授ら6人が審査を行いました。

働き方改革推進部門

グランプリ

制度構築と意識改革実践

ポップジャパン（広島市安佐南区、従業員60人）

専務取締役 **熊本 弥生**さん

宣伝用のぼりやオリジナルTシャツなどの製造、販売を主力として、ウエア制作や店舗装飾なども手掛けます。

広島県働き方改革実践企業として、育児・介護休業の拡充や在宅勤務の導入などに取り組んできました。年間の休日数を120まで拡大、今期は年次有給休暇の時間単位での取得を可能にし、通院などで制度利用しやすい環境を整えました。

社としての支援制度は整ったものの、さらなる課題は社員の意識と考え、組織風土の改革を目指してニッショーステートメントを構築。社員としてあるべき姿の再考や、全社員参加でチーム対抗での新商品開発などを実施し、チャレンジングな組織文化の醸成に取り組みました。

これらの意識改革と全社員の積極的な参加により、生産性は5期連続で伸び続けています。また主体性のある組織文化が、デザインやイベント企画運営など新たな事業領域の積極的拡大を可能にしています。

グランプリ

エンゲージメント向上に力

東洋プラント（福山市、122人）

常務取締役 **牧平 佳代子**さん㊧
総務課 **藤井 奏乃**さん

河川の水門やポンプの工事、商用車の架装や整備などを担っています。主体的に熱意を持って仕事に取り組む心理状態を指す「エンゲージメント」を数値化。その向上を目指して取り組みを進めています。例えば、上司と部下が気軽に意見交換ができる場として「ザツダン」を開始。本年度からは部門の壁を越えた「クロスザツダン」も始め、他部門の業務内容を知ることにより業務改善案が多く挙がるようになりました。

また女性社員の活躍を目指して女性役員と一対一で話し合える場を設け、「ありたい姿や目標達成への方法などを一緒に考えています。一年間で一番頑張った、成長したと思う人を社員同士で投票し合うMVP表彰も実施。環境面でも、工場の断熱工事とエアコンの導入により快適な環境が整い、生産性が向上しました。

変化の多い時代の中で働き方改革に終わりはありません。これからも「福山で一番働きがいのある会社」を目指してまい進してまいります。

準グランプリ

50以上の福利厚生を整備

QOLサービス（福山市、335人）

代表取締役 **妹尾 弘幸**さん

グループホームの運営など介護事業を展開する会社です。全事業所に介護保険法で定められている基準を上回る人員を配置。その上で夜勤をしている職員に年間14日間の特別休暇を設ける、通院や学校行事などに利用しやすいよう半日休暇や時間休の制度を整備するなど、休みやすい環境を整えています。

さらに、期末賞与や年間100回以上の社内外での研修機会、同期メンバーでの食事や旅行など、家庭との両立、賞金、学び、遊びの四つの面から50以上の福利厚生を整え、職員が感動する職場作り」を目指しています。

これらの取り組みにより昨年度の離職率は4・2％にとどまりました。10年間5％以下を継続しており、採用コストの削減になっています。

働く環境を整備することでスタッフの士気が上がり、質の良いサービスが提供できています。これが利用者への還元となり、結果として会社の発展につながる良い循環が生まれています。

ワークライフバランス推進部門

グランプリ

独自の「育業賞与」を支給

福山ゴム工業（福山市、168人）

代表取締役 **松岡 伸晃**さん

雇用保険法に基づく育児休業給付金で支給されない33％相当額を、賃金扱いでない「育業賞与」として支給し、実質100％支給②当該休業期間は欠勤扱いとせず、評価含め一切不利益なを規定に明記する―。もちろん女性が取得した場合も対象です。

また取得時期は、法定の産後パパ育休における出生後8週間以内という枠にとらわれず分割を含め柔軟に対応します。現在までに男性4名が育休取得。今後取得を控えた社員も複数います。これからも「すべての人や社会がハッピーに」なるよう前進してまいります。

準グランプリ

育児休業取得率100％

東広島市社会福祉協議会（東広島市、206人）

常務理事 **梶永 里美**さん㊧
総務課主任 **上田 淑子**さん

社会福祉協議会が推進する「地域で支えあう仕組み作り」を職場においても意識醸成してきました。女性職員が7割を占め、正職員のうち子育て世代（20～40代）が占める割合は67％。そのため「子育て世代でも働きやすい環境の整備」に注力しています。

保育園の入所が決まるまでの育児休業期間制度（希望により短縮も可能）など、法律を上回る制度の導入を進めています。また休んだ人の仕事をカバーできる体制を整え、職員への制度利用を促すことで、「お互いさま」という意識がしっかり根付いており、子育てとの両立を実現しています。

その結果、2022年度の育児休業取得率（復職率はいずれも100％、看護休暇も10名が計45回取得しました。また正職員の離職率は、福祉業界全体の13・9％と比べてはるかに低い1％にとどまりました。福祉業界において働き手は大きな財産。それぞれの生活を充実させながら長く働いてもらえる組織づくりを目指していきます。

準グランプリ

職種新設し残業時間低減

シンクコンストラクション（東広島市、48人）

建設ディレクター **塩屋 那奈子**さん㊧
総務部 **廣瀬 ちひろ**さん

道路や橋梁などの建設を行っています。工事書類等の作成が残業の大きな原因となっている現状を改善するため、現場監督者の書類作成を専任でフォローする「建設ディレクター」という職種を新設しました。現在は女性だけですが今後は高齢者や障害者の活躍も期待できます。リモートワークも可能なので子育てや介護をしながら働けるよう環境作りに尽力します。

女性・障がい者・高齢者・外国人活躍推進部門

グランプリ

多様な人材生かす職場に

八千代工業（広島市安佐北区、134人）

代表取締役社長 **大薮 盛生**さん

ゼンテーションを行っています。その結果、早帰りキャンペーンの実施やスライドワークの導入などを展開中。現在、2年前と比較して女性管理職は2人増え、時短勤務の女性係長も3人います。

定年後の社員にもスキルに合わせて活躍の場を設けており、IT に強い70代の社員が社内のRPA（事務作業の自動化）を担当している例もあります。また外国籍の社員は7人在籍。障害のある方も2人継続就労中です。多様な人材が活躍できる安心安全な職場風土の醸成と、全従業員が当事者意識を持った「全員活躍」の実現を目指します。

手芸用品や日用雑貨などの企画製造を手掛けています。過去10年で社員が急増、人材も多様化しました。

「女性だから働き続けられる職場は誰にとっても働きやすい」という考えの下、昨年から各部署から集まった女性メンバーでプロジェクトチームを発足しました。今年は男性3人と外国籍の社員も加わり、意見交換や経営陣へのプレ

第2回広島ワークスタイルカンファレンスエントリー企業（50音順）

アイ・エム・シーユナイテッド　味日本　丘の上福祉会　荻野工業　奏音　QOLサービス
シンクコンストラクション　中国昇降機サービス　東洋プラント　ナガ・ツキ　東広島市社会福祉協議会　広島イーグル
福山ゴム工業　ポップジャパン　八千代工業　ライフワーク　理研産業　ロジコム

【スポンサー企業】

あいおいニッセイ同和損保 MS&AD INSURANCE GROUP
オフィスステーション
SACCSY
SmartHR
奉行クラウド
LINE WORKS

【主催】広島県社会保険労務士会　中国新聞社　【後援】広島県　広島労働局　広島県商工会議所連合会　広島経済同友会　広島県商工会連合会　全国労務診断協会

55th 社会保険労務士制度創設55周年

記念講演会

「新しい時代のコミュニケーション術」

先着100名様 無料

とき 12月1日（金）14:00▸▸▸

ところ ヒルトン広島（広島市中区富士見町11-12）

申込 TEL:082-212-4481（平日の9:00～18:00）
広島県社会保険労務士会 広島市中区橋本町10-10
申込締切:2023年11月29日（水）

お申し込み専用フォーム▶

中国放送（RCC）アナウンサー
横山 雄二氏

主催：広島県社会保険労務士会

※申込いただいた個人情報は、当行事に関することのみに使用します。